

別紙

特別支援事業実施要領（別添２） 新旧対照表

27 年度案	26 年度
<div>別添 2</div> <p>I 事業立ち上げ特別支援事業（同右）</p> <p>II 意思疎通支援事業関係特別支援事業</p> <p>1 意思疎通支援従事者ステップアップ研修事業（同右）</p> <p>2 意思疎通支援従事者養成研修促進事業（同右）</p> <p>3 意思疎通支援充実強化事業（同右）</p> <p>4 要約筆記者派遣事業従事者資質向上特別支援事業（同右）</p> <p>5 盲ろう者社会参加等促進事業</p> <p>6 失語症者向け意思疎通支援モデル事業</p> <p>ア 実施主体 市町村（指定都市及び中核市を含む。）及び都道府県</p>	<div>別添 2</div> <p>I 事業立ち上げ特別支援事業（略）</p> <p>II 意思疎通支援事業関係特別支援事業</p> <p>1 意思疎通支援従事者ステップアップ研修事業（略）</p> <p>2 意思疎通支援従事者養成研修促進事業（略）</p> <p>3 意思疎通支援充実強化事業（略）</p> <p>4 要約筆記者派遣事業従事者資質向上特別支援事業（略）</p> <p>5 盲ろう者社会参加等促進事業（略）</p> <p>（新規）</p>

27 年度案	26 年度
<p><u>イ 事業内容</u></p> <p><u>(ア) 失語症者向け意思疎通支援者の養成</u> <u>平成 27 年度障害者支援状況等調査研究事業に基づく養成カリキュラム（以下、「養成カリキュラム」という。）の必須科目（講義 8 時間、実習 32 時間）を基本として、支援者の養成を実施する。</u></p> <p><u>(イ) 失語症者向け意思疎通支援者の派遣</u> <u>失語症者が参加する会議、失語症者のために行われる催し物、団体活動及び失語症者の外出時に支援が必要な場面等について派遣を実施する。</u></p> <p><u>ウ 留意事項</u></p> <p><u>(ア) 養成カリキュラムの検証を行う必要があるため、実績報告の他に別途実施状況等について報告を求める可能性がある。</u></p> <p><u>(イ) 前記イの（ア）を実施するに当たっては、養成カリキュラムを基本とするが、各地域の状況や利用者ニーズに応じ、各自治体の判断で構成を変更することは差し支えない。</u></p> <p><u>(ウ) 平成 28 年度においては、前記イの（イ）の派遣は行わず、前記イの（ア）の養成だけの実施で差し支えない。</u></p> <p><u>(エ) 各地域における言語聴覚士協会や失語症関係団体と連携を図り事業の円滑な実施に努めること。</u></p> <p><u>(オ) 失語症者の集まるサロンを開催し、実地研修及び失語症者の個別ニーズの聞き出しの場として活用するよう努めるこ</u></p>	

27 年度案	26 年度
<p data-bbox="353 295 414 327"><u>と。</u></p> <p data-bbox="241 434 651 466">Ⅲ その他特別支援事業（同右）</p>	<p data-bbox="1131 434 1512 466">Ⅲ その他特別支援事業（略）</p>

